



令和2年11月17日

ベジタリアン/ヴィーガン関連制度推進のための議員連盟
会長 河村建夫様

認定NPO法人日本ベジタリアン協会代表 歯学博士 垣本 充
日本ベジタリアン学会(日本学術会議協力学術研究団体)会長 理学博士 高井明德

ベジタリアン/ヴィーガン関連制度推進のための議員連盟
第4回総会に際しての提言

我が国におけるベジタリアン/ヴィーガン食品等の認証ガイドライン

令和元年11月6日に開催されたベジタリアン/ヴィーガン関連制度推進のための議員連盟(以降、ベジ議連)総会以来、令和元年12月2日に第2回総会、令和元年12月25日にベジ・ヴィーガン議員連盟関係諸団体との意見交換会、令和2年4月2日に第3回総会を通して、日本ベジタリアン協会と日本ベジタリアン学会は、国際基準をベースにした我が国におけるベジタリアン・ヴィーガン食品認証の早急な実現を訴えて参りました。

また、第2回総会で農水省から民間団体での意見統一を求められ、その役割を務めようと考えましたが、実現に至りませんでした。

そこで、これまでの4回の会合での議論を踏まえて「我が国におけるベジタリアン/ヴィーガン食品等の認証ガイドライン」において、食品とケータリング(レストランを含む)認証を分けた形で提案いたします。

食品については、EU規制に盛り込まれているクロス・コンタミネーション(製造工程における動物性などの汚染)検査は大変重要なものとされていますが、ベジ議連民間団体では議論が分かれました。そこで、今回、海外のベジ・ヴィーガン主要認証団体や市民団体にベジ・ヴィーガン認証におけるクロス・コンタミネーションチェックの必要性について確認を行いましたところ、添付のように、17団体がその必要性を認め、コンタミネーションチェックが不要であるという返信は皆無でした。その回収率は約70%でした。

遺伝子組み換え(GMO)についてはEUは使用を認めませんが、その他の地域では国により見解が分かれます。そのようなことから今回ケータリング認証ではGMOの項目を外しました。

下記に、ベジ議連の議論を踏まえたベジタリアン・ヴィーガン認証ガイドラインを食品とケータリング(レストランを含む)に分けて表示します。

ベジタリアン/ヴィーガン認証ガイドライン

①ヴィーガン「食品」認証

- 1) ヴィーガン(完全菜食)食材として適切な植物性食品(具体例は下記項目参照)
- 2) 畜肉、鶏肉、魚貝または骨のストック(だし)、動物性脂肪(油脂)、ゼラチン、アスピック(魚ゼリー)、ローヤルゼリー、乳、卵のほか、ハチミツ*不可
註：ハチミツは植物性食品であるが、蜂からの搾取であると英国ヴィーガン協会が主張
- 3) 食品添加物についても動物性由来のものは使用しない
- 4) 動物実験を行った材料を用いない
- 5) 遺伝子組み換えか作物(GMO)を用いない
- 6) 製造工程で非ヴィーガン原料等に汚染(クロス・コンタミネーション)されないように、製造工程でのコンタミネーション検査を行う

②ベジタリアン「食品」認証

- 1) ベジタリアン(乳卵菜食)食材として適切な乳・卵および植物性食品(具体例は下記項目参照参照)。
- 2) 畜肉、鶏肉、魚貝または骨のストック(だし)、動物性脂肪(油脂)、ゼラチン、アスピック(魚ゼリー)、ローヤルゼリー不可
- 3) 食品添加物についても動物性由来のものは使用しない
- 4) 動物実験を行った材料を用いない
- 5) 遺伝子組み換えか作物(GMO)を用いない
- 6) 製造工程で非ヴィーガン原料等に汚染(クロス・コンタミネーション)されないように、製造工程でのコンタミネーション検査を行う

③ヴィーガン「ケータリング・レストラン」認証

- 1) ヴィーガン(完全菜食)食材として適切な植物性食品(具体例は下記項目参照)
- 2) 畜肉、鶏肉、魚貝または骨のストック(だし)、動物性脂肪(油脂)、ゼラチン、アスピック(魚ゼリー)、ローヤルゼリー、乳、卵のほか、ハチミツ*不可
註：ハチミツは植物性食品であるが、蜂からの搾取と英国ヴィーガン協会が主張
- 3) 食品添加物についても動物性由来のものは使用しない
- 4) 動物実験を行った材料を用いない
- 5) 製造工程で非ヴィーガン原料等に汚染(クロス・コンタミネーション)されない
原則、製造工程でのコンタミネーション検査は行うが、この検査に代わる措置として、製造者には洗浄等による動物性クロス・コンタミネーション防止対策の徹底を求めた上、アレルギー疾患や動物性等に関する但し書き(注意喚起表示)を義務付ける
(但し書き例)
 - ・この食品の製造ラインでは、牛乳や卵などの動物性食品も使用しています
 - ・この製品の製造に用いるフライヤーは鶏肉などの動物性食品と共用しています註：クロス・コンタミネーションについては、国際的にベジ・ヴィーガン認証の最重要課題の一つであり、国内的には厚生省食品衛生法の考え方を支持する意味から、消費者庁HPの食品表示法等(食品表示基準に係る通知)のアレルゲンを含む食品に関する表示の3の(5)に記載される通り、国内的にはアレルギー疾患を有するものに健康被害を発生する恐れがあることから、製造者等がコンタミネーションを防止するための対策の実施を徹底すべきとしている

④ベジタリアン「ケータリング・レストラン」認証

- 7) ベジタリアン(乳卵菜食)食材として適切な乳・卵および植物性食品(具体例は下記項目参照参照)。
- 8) 畜肉、鶏肉、魚貝または骨のストック(だし)、動物性脂肪(油脂)、ゼラチン、アスピック(魚ゼリー)、ローヤルゼリー不可
- 9) 食品添加物についても動物性由来のものは使用しない
- 10) 動物実験を行った材料を用いない
- 11) 製造工程で非ベジタリアン原料等に汚染(クロス・コンタミネーション)されない
原則、製造工程でのコンタミネーション検査は行うが、この検査に代わる措置として、製造者には洗浄等によるクロス・コンタミネーション防止対策の徹底を求めた上、アレルギー疾患や動

物性等に関する但し書き(注意喚起表示)を義務付ける
(但し書き例)

- ・この食品の製造ラインでは、牛肉、豚肉などの動物性食品も使用しています
 - ・この製品の製造に用いるフライヤーは鶏肉などの動物性食品と共用しています
- 註：クロス・コンタミネーションについては、ヴィーガン認証の註を参照

【参考】

消費者庁 HP・食品表示法等(食品表示基準に係る通知)

アレルギーを含む食品に関する表示 3

(5) コンタミネーション

原材料として特定原材料等を使用していない食品を製造等する場合であっても、製造工程上の問題等によりコンタミネーションが発生することが指摘されている。これが原因となりアレルギー疾患を有する者に健康危害が発生するおそれが懸念されている現状を踏まえ、他の製品の原材料中の特定原材料等が製造ライン上で混入しないよう当該製造ラインを十分に洗浄する、特定原材料等を含まない食品から順に製造する、又は可能な限り専用器具を使用するなど、製造者等がコンタミネーションを防止するための対策の実施を徹底すべきである。

また、これらのコンタミネーション防止対策の徹底を図ってもなおコンタミネーションの可能性が排除できない場合については、アレルギー疾患を有する者に対する注意喚起表記を推奨するものである。

【資料】

ベジタリアン・ヴィーガン食品認証でコンタミネーション検査不可欠とする
認証団体(英国食品基準庁(F S A)を含む)

① 国際ベジタリアン連合(IVU)

<https://ivu.org/>

② 英国ベジタリアン協会(VSUK)

<https://vegsoc.org/>

③ 英国ヴィーガン協会(The Vegan Society)

<https://www.vegansociety.com/>

④ ヨーロッパベジタリアン連合(EVU)

<https://www.euroveg.eu/>

⑤ ドイツ認証団体 S G S

<https://www.sgsgroup.de/en/news/2017/12/vegan-vegetarisch-pruefzeichen-lebensmittel>

⑥ 英国食品基準庁(FSA)

<https://www.food.gov.uk/news-alerts/news/fsa-in-northern-ireland-publishes-its-annual-report-and-accounts-for-201920>

ベジタリアン・ヴィーガン食品認証にコンタミネーション検査が必要であると日本政府に
提言することに賛同した団体

【EU】

⑦ BCC オーストラリア

<https://www.betacatalyst.com.au/>

⑧ デンマーク・ベジタリアン協会(Dansk Vegetarisk Forening)

<https://vegetarisk.dk/medlemskab/>

⑨ オーストリア・ヴィーガン協会(Vegane Gesellschaft Österreich)

<https://www.vegan.at/>

【北米】

⑩ ヴィーガンアクション(Vegan Action)

<https://vegan.org/>

⑪ カナダ・ヴィーガン協会(Vegan Society of Canada)

<https://www.vegancanada.org/>

⑫ トロント・ベジタリアン協会(Toronto Vegetarian Association)

<https://veg.ca/>

⑬ ハッピーカウ(Happy Cow)

<https://www.happycow.net/>

【南米】

⑭ ブラジルベジタリアン協会(Sociadade Vegetariana Brasileira)

<https://svb.org.br/>

【アジア・オセアニア】

⑮ アジア太平洋ベジタリアン連合(APVU)

<https://v-sources.org/index.php/en/>

”

⑯ 世界ヴィーガン機構(WVO)

<https://worldveganorganisation.org/>

⑰ 香港ヴィーガン協会(Hong Kong Vegan Association)

<https://www.vegan.hk/>